

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 流 動 資 産 | 5,977,378 | 流 動 負 債 | 5,426,773 |
| 現金及び預金 | 52,474 | 支払手形 | 57,296 |
| 受取手形 | 71,740 | 買掛金 | 2,619,344 |
| 売掛金 | 4,278,469 | 短期借入金 | 728,251 |
| 未収入金 | 1,267,133 | 未払金 | 885,788 |
| 製品 | 160,489 | 未払法人税等 | 5,764 |
| 仕掛品 | 14,156 | 未払消費税等 | 56,437 |
| 材料 | 24,725 | 未払費用 | 876,830 |
| 貯蔵品 | 20,687 | 預り金 | 65,740 |
| 短期貸付金 | 19,187 | リース債務 | 16,250 |
| その他流動資産 | 84,833 | 役員賞与引当金 | 6,252 |
| 貸倒引当金 | ▲ 16,519 | 関係会社事業損失引当金 | 54,596 |
| | | その他流動負債 | 54,219 |
| 固 定 資 産 | 2,149,624 | 固 定 負 債 | 1,832,267 |
| 有形固定資産 | 359,382 | 長期リース債務 | 26,185 |
| 建物 | 192,067 | 資産除去債務 | 52,693 |
| 機械及び装置 | 25,046 | 退職給付引当金 | 1,569,632 |
| 工具器具及び備品 | 92,053 | 役員退職慰労引当金 | 23,230 |
| リース資産 | 37,740 | 繰延税金負債 | 145,094 |
| 建設仮勘定 | 10,550 | その他長期引当金 | 15,431 |
| その他有形固定資産 | 1,924 | | |
| 無形固定資産 | 246,010 | 負債の部合計 | 7,259,040 |
| ソフトウェア | 172,025 | 純 資 産 の 部 | |
| その他無形固定資産 | 73,985 | 株 主 資 本 | |
| | | 資 本 金 | 100,000 |
| 投資その他の資産 | 1,544,230 | 資 本 剰 余 金 | 652,216 |
| 子会社株式 | 26,246 | 資 本 準 備 金 | 70,000 |
| 非上場株式 | 1,965 | その他資本剰余金 | 582,216 |
| 長期差入保証金 | 166,986 | | |
| 前払年金費用 | 396,713 | 利 益 剰 余 金 | 115,745 |
| 繰延税金資産 | 951,948 | 利 益 準 備 金 | 31,180 |
| その他投資 | 72,225 | その他利益剰余金 | |
| 貸倒引当金 | ▲ 71,855 | 別 途 積 立 金 | 311,000 |
| | | 繰越利益剰余金 | ▲ 226,434 |
| | | (内、当期純利益) | (6,640) |
| | | 純資産の部合計 | 867,961 |
| 資産の部合計 | 8,127,002 | 負債及び純資産の部合計 | 8,127,002 |

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①子会社株式 移動平均法による原価法
- ②その他有価証券 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ①売店在庫 売価還元法による原価法に基づく低価法
- ②商品及び製品 最終仕入原価法による原価法に基づく低価法
- ③仕掛品 個別法による原価法に基づく低価法
- ④原材料 移動平均法による原価法に基づく低価法
- ⑤貯蔵品 個別法による原価法に基づく低価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産(リース資産を除く) 定額法
- ②無形固定資産(リース資産を除く) 定額法
ソフトウェアの減価償却の方法については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法
- ③リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 引当金の計上基準

| 引当金 | 計上理由 | 計算の基礎等 |
|--------------|--------------------|--|
| ①貸倒引当金 | 債権の貸倒れによる損失に備えるため | 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している |
| ②役員賞与引当金 | 役員の賞与の支給に備えるため | 支給見込額に基づき計上している |
| ③退職給付引当金 | 従業員の退職金の支給に備えるため | 退職給付引当金は、退職給付債務に充てる為、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している |
| ④役員退職慰労引当金 | 役員の退職金の支給に備えるため | 役員については、内規に基づく退職慰労金要支給額の100%を計上している |
| ⑤関係会社事業損失引当金 | 関係会社における事業損失に備えるもの | 関係会社に対する出資金額等に係る損失負担見込額を超えて当社が負担することが見込まれる額等を引当計上している。 |

(5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている